

記者発表資料

平成21年5月13日

所属	大垣市 経済部 農林課
担当	林政係 池井、宮内
連絡先	0584-81-4111 (内線526)

えぼし
烏帽子岳登山道の完成に伴う林間広場の整備について

1. 目的・趣旨

市は、烏帽子岳登山道（細野ルート）の完成に伴い、登山口に林間広場を整備した。今後、緑豊かな自然を後世へ継承し、都市と山村地区の交流活動活性化による地域の振興を図るため、自然環境の保全・再生活動をはじめ各種イベントを通じて、同地区に訪れる都市部住民を増加させるための拠点とする。

2. 施設概要

林間広場面積 565㎡、トイレ1棟(木造平屋、12.85㎡)、案内看板2基、東屋1棟(9㎡ 個人からの寄贈)

3. 所在地 大垣市上石津町細野地内烏帽子岳登山道（細野ルート）登山口

4. 事業費 総額9,363千円

(内訳) 用地取得費 1,279千円

工事費 8,084千円(造成、上下水道工事、トイレ建築、看板等)

5. これまでの経緯等

- 平成20年度農山漁村活性化プロジェクト支援交付金（農林水産省）として事業採択を受けて実施。
- 林間広場から烏帽子岳への登山道の整備が完了（烏帽子岳登山道整備実行委員会が実施）。
- 林間広場に、東屋の寄贈を受ける（平成21年5月）。

<参考>

○開設記念式典の開催（烏帽子岳登山道・林間広場開設記念式典）

- 日時／平成21年5月17日（日）午前8時20分～8時45分
- 開催場所／烏帽子岳林間広場（雨天の場合は、えぼしふれあい会館）
- 主催／烏帽子岳登山道整備実行委員会（時まちづくり実行委員会と大垣山岳協会で組織）委員長 阿藤 昭博（時まちづくり実行委員会会長）
- 参加者／来賓 大垣市長、大垣山岳協会会長 ほか市民登山の参加者等約150人

○烏帽子岳登山道（細野ルート）整備の経緯

これまでも、烏帽子岳登山道には時山ルートと古田ルートがあったが、展望が悪かったり登山道が荒れていたりしていた。そのため、時まちづくり実行委員会が新しい登山道の整備を計画。大垣山岳協会の協力を得て、3年前から細野からのルートを整備し、今回の開設に至った。

○烏帽子岳市民登山の開催

式典終了後、登山道の開設を記念して大垣山岳協会の主催により烏帽子岳市民登山大会を開催。広報おおがきなどで募集し、約100人が参加予定。

烏帽子岳(えぼしだけ)

烏帽子岳（865.1m）は、鈴鹿山系の高山でその秀麗さは美濃富士とも呼ばれ、昔から時之郷（上石津町時地区）の象徴として仰ぎ親しまれてきた。山頂からの見晴らしが良く、上石津の集落のほか、遠くは伊勢湾、北陸の山々等を望むことができる。また、頂上付近には奇岩、怪石も見られる。

平安末期の盗賊の首領「熊坂長範」一族が、烏帽子岳のふもとの伊勢街道や江州街道を行き来する旅人を襲い、金銭や持ち物を奪い取りそれを貧しい人たちに分け与えたという「義賊長範」伝説がこの地には根付いている。そのため地元では、烏帽子岳は「熊坂山」とも呼ばれてきた。

烏帽子岳登山道（細野ルート）

途中の見晴らしが良く、コースの傾斜がゆるやかなため、誰でも安心して登ることができる。烏帽子岳林間広場から頂上までは約2.7km。片道2時間程度で登ることができる。途中、登山道案内看板や樹木の名札などを設置している。